

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



PEM006-06

会場:101

時間:5月25日 12:15-12:30

## 地圏 大気圏 電離圏 磁気圏結合の解明～アジア地域における地球電磁気変動と地殻変動の関連について～ Lithosphere-Atmosphere-Ionosphere Coupling

服部 克巳<sup>1\*</sup>

Katsumi Hattori<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 千葉大学大学院理学研究科

<sup>1</sup> Chiba University

近年、地震や火山活動などの地殻活動に関連する様々な電磁気学的な現象が報告されており、従来の弾性学的なパラメータに加えて、地殻活動を予測するためのパラメータとして有効である可能性が極めて高い。なかでも、ULF帯の電磁場変動と電離圏・大気圏擾乱は有望で、地殻変動をモニタする指標になる可能性がある。そこで、本プロジェクトではアジア地域の(1) ULF帯電磁場変動と地殻変動の関係および(2)  $M > 6$ の地震の前に生じる電離圏電子数(Total electron Content: TEC)の異常変動についてイベント解析と統計解析を行う。ULF帯電磁場変動ではこれまでに経験的にM6クラスならば60km、M7クラスならば100kmが異常検知距離であることがわかっている。そこで、本プロジェクトでは、地震活動を考慮した観測点の整備(インドネシア)と従来の観測データの解析による検証を実施する。本研究の結果は地圏 大気圏 電離圏結合の観点から超高層物理学にも新たな知見を与えると考えている。